

令和4・5年度 多摩市文化芸術ビジョン検討委員会 全体の流れ

1 経緯	<p>多摩市における文化芸術振興方針（平成21年市長決定）の改定に向け、令和2年10月に文化芸術方針検討委員会を設置し、委員会の提言を反映した「多摩市みんなの文化芸術条例」を制定した（令和4年4月1日施行）。本条例の制定後、条例第8条の規定にある通り、文化芸術に関する活動を計画的に推進するための文化芸術の振興に係る計画の策定の前段として、将来像（以下、将来ビジョン）を定めるものとする。令和4年度に多摩市文化芸術ビジョン検討委員会（以下、検討委員会）を設置し、令和5年5月末に委員会案を策定することを目標とし、検討を進めていく。</p> <p>なお、計画は令和5年度下半期に別途委員会を設置し、検討を行う予定である。</p>
2 目的	<p>多摩市みんなの文化芸術条例に基づき、文化芸術における多摩市の将来像であるビジョンについて、その内容を検討する。</p>
3 検討の進め方	<p>将来ビジョンは市民が理解しやすく親しみのあるものにするため、アンケートやワークショップ等、市民意見を多く取り入れるものとする。検討委員会は、市民意見を中心に意見交換を行っていくものとする。</p>
4 ビジョンと計画の違い	<p>（1）将来ビジョンとは 将来像であり、あるべき姿・ありたい姿を表現したものである。明確な将来像をもち、将来像を実現させるための道筋に見える化させるために策定する。すなわち、ビジョンは具体的な施策を策定するための大前提となるものである。</p> <p>今回は、定性的（質的）側面をもつ将来ビジョンとし、「多摩市は文化芸術で10年後にどのような街や市民であってほしいか（状態）」を定めるものとする。</p> <p>（2）計画とは 将来ビジョンを実現するために、戦略的な発想をベースにして明確な道筋にし、具体的な施策を明記したものが計画である。</p> <p>将来ビジョンと現状とのギャップを埋める手段、将来ビジョン実現の手段をなぜ、いつまでに、何を、誰が、どこで、どのように、どのくらいといった観点で具体的な内容にし、整理したものが計画である。</p> <p>本市の文化芸術における計画の詳細は、将来ビジョンの内容を鑑み、決定するものとする。</p> <p>（3）条例・将来ビジョン・計画の関係性 将来ビジョンおよび計画は、多摩市みんなの文化芸術条例の基本理念に沿ったものとし、条例・将来ビジョン・計画の関係性は次の通りとする。</p> <div data-bbox="338 1594 1433 1921" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">将来ビジョン (将来のありたい姿)</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p style="text-align: center;">現状</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p style="text-align: center;">条例 基本理念 (不変)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">計画 (将来ビジョン実現の手段で、具体的な施策。振り返りを実施し見直す必要がある)</p> </div> </div>

5 内容

【令和4・5年度多摩市文化芸術ビジョン検討委員会（全6回予定）の進行について】

第1回 キックオフ

正・副委員長決定、委員紹介、委員会全体の進行について、現状把握、将来ビジョンの範囲、将来ビジョンの柱（事務局案）の説明、将来ビジョンの大枠（方向性、街・市民の姿）の決定、社会情勢・多摩市の変化について

第2回 社会情勢・多摩市の変化を踏まえた将来ビジョンの内容について検討

社会情勢・多摩市の変化を確認し、他事由を踏まえ、将来ビジョンの柱について議論する。

第3回 将来ビジョンの内容について検討

第2回の内容につき、さらに議論を深める。ワークショップおよびアンケートの実施内容の確認

アンケート

市民の意見を将来ビジョンに反映させることを目的に実施。1か月程度の実施期間で、広報等で広く周知し、市ホームページやロゴフォーム、公共施設等で実施。興味ある人が広く回答できるよう進めていく。

ワークショップ〈街・市民の将来像編〉

鑑賞者・享受者側の意見を伺うため、一般層（公募）で40名を上限に募集。

「(仮称)10年後に芸術文化でこんな街・市民になってほしい」をテーマに、5人8グループに分かれて、街をテーマに4グループ、市民をテーマに4グループに分かれて議論を行い、発表して頂く。場所：パルテノン多摩会議室1、時間：2時間程度を予定。

第4回 ワークショップ、アンケートの振り返り及びビジョンの検討

ワークショップとアンケートの市民意見を考慮し、委員会で将来ビジョン（委員会素案）について議論する。

第5回 将来ビジョン（委員会素案）について検討

さらに議論を行い、将来ビジョン（委員会素案）として集約していく。

第6回 将来ビジョン（委員会案）を決定

委員会案の最終確認を行う。

※第6回委員会後、市で（仮称）多摩市芸術文化将来ビジョン（素案）を取りまとめ、庁内協議を経て市長決定を行い、（仮称）多摩市芸術文化将来ビジョンを決定する。

成果報告および将来ビジョンの周知（たま広報・HP・SNS）

市民を対象に、委員会での議論や将来ビジョンを報告することを目的に実施。

6 スケジュール	令和4年度	8月	委員募集・決定
		10月	第1回委員会
		11月	第2回委員会
		12月	第3回委員会
		1月	アンケート実施
		2月	ワークショップ実施 ※内容によっては委員への協力依頼あり
		3月	第4回委員会
	令和5年度	4月	第5回委員会
		5月	第6回委員会
		6月	市長決定
		7月	周知準備
8月		周知開始	
7 委員構成	<p>●学識委員 1名（令和2年度多摩市文化芸術方針検討委員会委員長を引き続き任命。ファシリテーターとして依頼）</p> <p>●市民委員 5名</p> <p>●公募委員 1名</p>		
8 ビジョンに基づく計画について	<p>（1）計画策定スケジュールについて 令和3年度時点では、令和4年に将来ビジョンを策定、令和5・6年度に計画を策定する予定であった。</p> <p>しかし、課の人事異動による欠員、パルテノン多摩リニューアルオープン準備、新型コロナウイルス感染症による影響等様々な要因により、多摩市文化芸術ビジョン検討委員会第1回を令和4年6月から、令和4年10月予定へと延期することとした。</p> <p>約4カ月遅れたことにより、計画策定のスケジュールを以下の通りとする。</p> <p>①将来ビジョンの内容によって計画の内容が変わるため、計画策定についての令和5年度予算計上を予測・説明することが困難である。よって、委員会以外の予算計上が必要な業務は令和6年度実施とし、令和5年度は計画検討委員会の設置準備、および設置した委員会において予算のかからない範囲の検討を行っていく。</p> <p>②計画の企画書を令和5年5月～8月を目途に作成していく。</p> <p>③計画検討委員会委員の選出を令和5年9月～11月を目途に行う。公募委員募集はたま広報11月20日に掲載し、12月末までに決定する。</p> <p>④第1回委員会を令和6年2月、第2回委員会を3月に開催する予定。第3回委員会以降は令和6年度に行い、委員会以外の予算を必要とする事業は第3回以降に実施するものとする。</p>		